

ササバギンラン ラン科

Cephalanthera longibracteata Blume

鳥取県：絶滅危惧 類 (CR+EN)

環境省： -

選定理由 生育環境悪化，採取圧，局限・孤立，希少性。

生態・形態 山地のやや乾いた，明るい林内や林縁沿いに生育する多年生ラン科草本。茎は単一，高さ30～50cm。葉は狭楕円形～披針形，葉脈が顕著，鋭突頭，基部は細まり茎を抱く，長さ5～15cm，下面には短毛状突起がある。花は5～6月，白色，花被は半開，苞は線形，花序より長い。ギンランに類似するが，葉が大，細長い，苞が長い，葉下面や花序などに毛状突起があることで区別できる。和名はギンランに似て細長い葉を笹の葉に見立てたもの。

分布 北海道，本州，四国，九州。

(県内) 日南町。

保護上の留意点 採取防止。生育地の森林環境の保護。

